

1. 学校名 対象 (学年、人数) いいづな学園 グリーンヒルズ小学校 1・2年クラス 7名

2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ

Sharing the planet 「平和と紛争解決」

(2) 目 標

異なる意見の理由を知ることは、争いを解決する手がかりとなる

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

多様性 (多種多様な現象が起きていること)

公平性 (一人ひとりを大切に)

相互性 (関わりあっている)

連携性 (互いに連携・協力すること)

有限性 (限りがある)

責任制 (責任を持って)

その他 ()

②育成する資質・能力

批判的に考える力

他者と協力する力

未来像を予測して計画を立てる力

つながりを尊重する態度

多面的・総合的に考える力

進んで参加する態度

コミュニケーションを行う力

(4) 関連する SDGs



10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(5) 探究課題・活動実践の概要

クラスのけんかが絶えず起こり、毎日が「悪」に感じられた日々を過ごしていたクラスでした。この「悪」の日々を何とかして変えられないか、けんかを止めるために周りの人たちができることはなにか、なぜ喧嘩が起こるのかを考えました。この学びのおかげでクラスのけんかは、ほとんどなくなり、心地よく毎日が過ごせるようになりました。

しかし日々、戦争のニュースが流れているのを見ている子どもたちが、「どうして自分たちは、けんかを止められることができるようになったのに、大人はなぜ戦争を止めることができないのか」という思いを持つようになってきた。自分たちと同じ世代の子どもたちが、戦争によって暴力を受けたり、殺されたりしていることを知り、何とか自分たちにできることはないのか、自分たちの学びを伝えることはできないのかと思い、「笑顔の写真集」を製作し、国連とロシア、ウクライナなど戦争をしている国の大使館に送りたいという願いを持ち、行動に移しています。

3. 流れ (指導計画の概略)

10月 身の回りにある平和の探究

けんかをとめるために、周りの人ができることの探究 (ロールプレイング)

11月 喧嘩、紛争、戦争の原因の探究 (かずしらべ、新聞を使った調べ学習)

12月 自分たちができることの探究 (写真集づくり)

4. 効果・反応・所感

クラスのけんかが、目に見えて減り、クラスの仲が良くなりました。子どもたちは、自分たちなりの紛争の解決の仕方を手に入れました。

そこから、自分たちでもできたのに、どうして大人はできないのかという疑問を持ち、平和に対す

る強い思いを持ち、世界に対して行動を起こしたいという思いを持つことになりました。

まさか1・2年生で、ここまで強く世界の平和を思い行動することができるとは、子どもたちの心の強さを実感する3か月でした。これから、この子たちが大きくなり、さらに世界の平和を思って行動できる人に成長していくのが楽しみでなりません。

5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

ロールプレイングをすることで、実際に自分たちの状態を知ることができる。そこから、日々の生活に戻り、自分を見つめなおすことにつながる。

最初は、教師が喧嘩をする役を務めた。日々のけんかの様子を再現できるような劇に仕立てた。

